

千葉県南房総市における地域公共交通活性化・再生総合事業について

計画事業
(3年目)

経緯

公共交通の現況

- 地域内交通のネットワーク構築を目指し、乗合バスを含めた全ての交通について南房総地域全体を俯瞰した広域的交通環境の整備を推進し、幹線としての快速バス「うらら」の実証運行を開始した。また、小規模需要地域における実情に合わせた運行形態として、デマンド型乗合タクシーの実証運行を開始した。
- 合併後の公共交通ネットワーク構築の住民ニーズが高い。

課題

- 合併前の旧町村の事情により廃止代替バス等が運行されているが、サービス水準の違いがあるほか、ネットワークが充分でない状況である。

活性化の目標・方向性

- 小規模需要地域等においては、運行地域の地形、集落の配置や運行便数の補完を目的とし、デマンド型乗合タクシーによる支線運行により、交通結節点においてバス路線との接続を重視した運行により、効率的な再編を目指す。
- 地域住民の生活系交通と、来訪者の観光系交通を融合させた地域交通ネットワークを構築し、地域公共交通の維持と活性化を図る。

【事業の内容（平成22年度）】

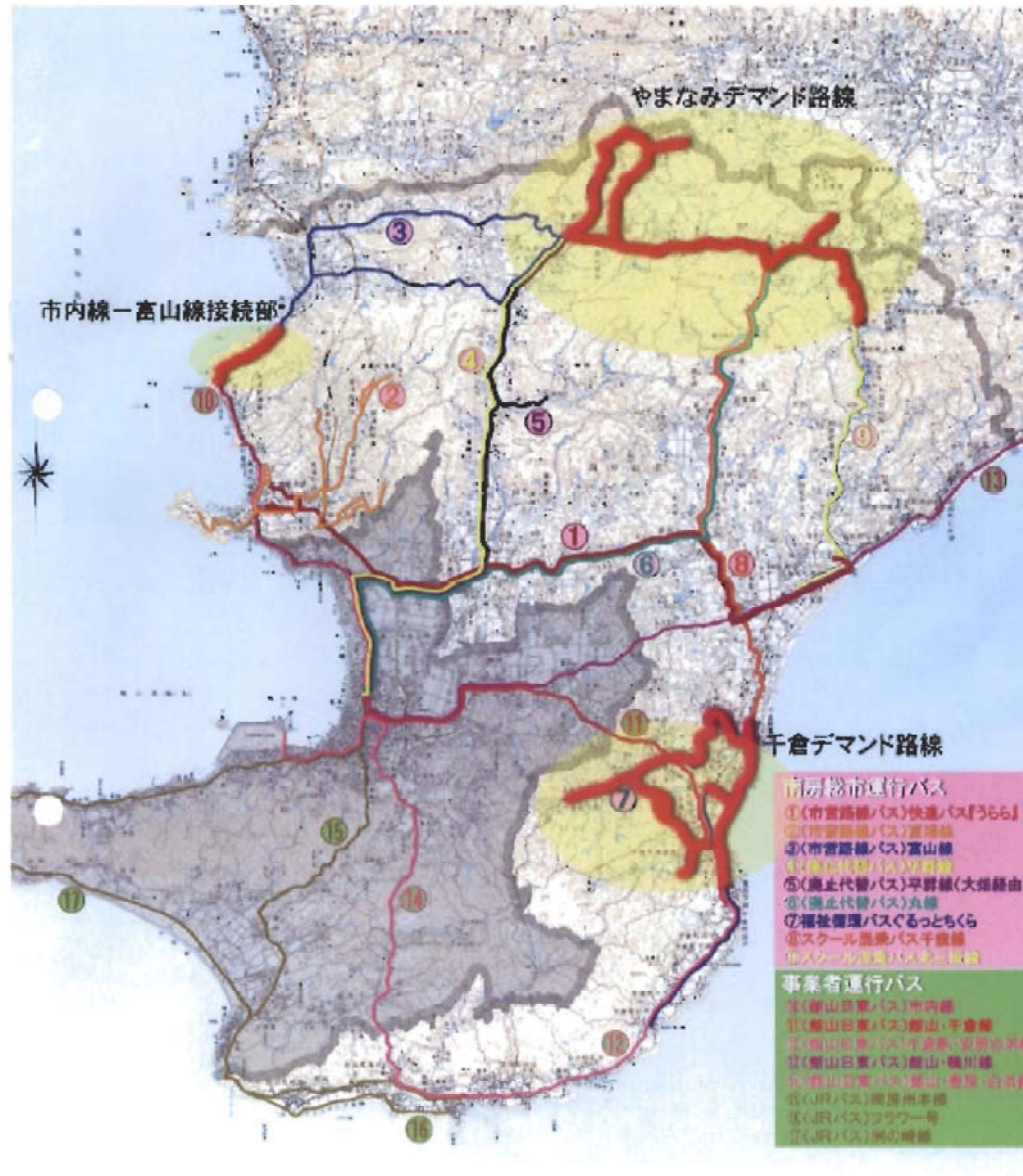
- 快速バス「うらら」の実証運行(20年10月～)
 - ☆利用促進方策(JRとの連携によるPR・商品化、通学生徒を対象とした利用促進、鉄道・高速バスからの乗り継ぎ割引導入)
- デマンド型乗合タクシーの実証運行(21年10月～)
 - ☆利用促進方策(帰路における支障のない範囲での自宅付近までの運行、予約受付時間の拡大、既存バス路線等への接続等)

【今後の事業の方向性】

- 快速バスは、路線の維持・存続を目的としているため、地域における継続的な事業として、地域生活路線と来訪者の二次交通としての路線の融合が図れるようにするとともに、本格運行に向け、費用の分担について検討する。
- デマンド型乗合タクシーは、地域特性に合った運行を行い、定着に向け努力する。

南房総市：デマンド型乗合タクシーの実施区域 (平成21年度～)

事業実施区域資料



《デマンド型乗合タクシー実証運行(やまなみ線)》

- ・運行ルート：富山国保病院～外野・荒川循環
富山国保病院～山田～大井～上三原
- ・運行主体：南房総市
- ・事業主体：鏡浦自動車(株)他7社
- ・運行車両：セダン型1台
- ・運行期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・運行時間帯：午前6時～午後7時
- ・運行回数：平日：循環線6.5便/1日 往復線5.5便/1日
土休日：循環線5.5便/1日 往復線5便/1日
- ・運賃体系：1乗車200円(3才以下無料)
- ・利用状況：894人(平成21年10月～平成22年3月)
- ・運賃収入：85,200円(同上)

《デマンド型乗合タクシー実証運行(ちくら線)》

- ・運行ルート：ゆらり～千倉支所～岡瀬田・大貫循環
ゆらり～千倉支所～千歳・健田循環
- ・運行主体：南房総市
- ・事業主体：鏡浦自動車(株)他7社
- ・運行車両：セダン型1台
- ・運行期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・運行時間帯：午前10時～午後4時
- ・運行回数：各3便/1日
- ・運賃体系：1乗車200円(3才以下無料)
- ・利用状況：102人(平成21年10月～平成22年3月)
- ・運賃収入：16,400円(同上)

南房総市：快速バスの実施区域（平成20年度～）

事業実施区域資料

《快速バス実証運行》

- ・ 運行ルート：富浦駅～市役所～枇杷倶楽部～三芳・丸山支所
～ローズマリー公園（土休日のみ）
～和田福祉センター
- ・ 運行主体：南房総市
- ・ 事業主体：館山日東バス(株)
- ・ 運行車両：29人乗り2台
- ・ 運行期間：平成20年10月1日～平成23年3月31日
- ・ 運行時間帯：午前7時～午後7時
- ・ 運行回数：平日6往復/1日、土休日5往復（平成22年3月25日～）
- ・ 運賃体系：2地区まで200円、3地区以上300円（小児半額）
- ・ 利用状況：7,506人（平成21年4月～平成22年3月）
- ・ 運賃収入：1,476千円（同上）

